

令和3年度 自己評価表

I 児童生徒アンケートの集計結果と保護者アンケートの集計結果（別紙）

II 全体評価と特記事項：活動の実態やアンケート結果、教職員の意見交換より

【数値評価】

○学校教育全般について	数値評価表平均	3.6
-------------	---------	-----

【評価・特記事項】

- 教育方針やステージ別目標、学習定着プログラムに対し、大方賛同を得ています。一方、児童生徒自身が、日々の生活で、学校や学級の目標を主体的に意識していくことが望まれます。
- ENG プログラムはリモートレッスンの継続となりましたが、全体的に支持を得ていました。他方、学習定着プログラムのような特徴的な学習指導が、児童生徒の意欲につながるよう工夫の余地があると思われまます。
- 挨拶についての評価が、全体平均 3.3 との結果で、他より低い数値となっています。学校生活内での実感としても、児童生徒のあいさつの習慣はまだ身につけていく必要を感じています。礼儀・思いやりの基本として課題意識を持ち、模範も大事にしながら指導を具体化していく必要があると思います。
- 保護者アンケートから、ICT 教育を含む学習向上や各自の学習フォローの充実についての期待、送迎時間帯の駐車場の状況へのご心配、感謝のお言葉など、様々なコメントをいただきました。最近の状況から ICT 活用に関してご家庭との連携、一人ひとりが自主的に学習に取り組む方法の探求などについてより深めていく必要性を感じています。具現化した工夫を取り入れて、善処に努め、子どもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるように努力していきたいと思ひます。

以上